

令和 5年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 清 瀬 市

学校名 清瀬市 立 清瀬第八小学校

1 事業目的 協議会名 清瀬市立清瀬第八小学校芝生管理委員会

・「地域に根ざす学校」「ふるさと八小」として、学校、地域、保護者が連携・協働して芝生の維持・管理及び活用等の仕組みづくりの推進を図る。学校、地域、保護者、そして児童が協力して、芝生を管理したり活用したりすることを通して、児童の健全育成を図るとともに、地域の教育力の向上を図る。

2 主な取組と成果

①管理作業の取組

- グリーンキーパーにより定期的な手入れ作業の継続を行い、芝生の状態を維持できた。
- 児童による芝生の手入れを実施した。(各学年1回の雑草取り・落ち葉拾い 5年生による冬芝の種まき)
- 保護者と連携しての芝生の手入れを行った。

②地域と連携した芝生の管理・活用

- 青少協「美化デー」で保護者や地域の方も一緒に芝生の手入れ(学年ごとの雑草抜き、5年生の冬芝の種まき)をしたことで、地域との連携を図ることができた。
- 「芝生まつり」を保護者、地域と連携して行い、児童が楽しく過ごすゲームや児童(縦割り学年ペア)による芝生の雑草抜き等をしたことで、交流を深めることができた。

3 取組内容

①管理作業の取組

○グリーンキーパーにより定期的な手入れ作業の継続を行った。定期的な作業は、芝生の状態を維持するだけでなく、児童や教職員が「芝生の手入れは誰かがやらなくてはいけないこと」という認識を持つことにつながった。

○児童による芝生の手入れを実施した。(各学年1回の雑草取り・落ち葉拾い 5年生による冬芝の種まき)全校の児童が少しずつではあるが芝生の手入れに参加できたことで、自分たちの校庭であること、芝生の手入れは大変な作業であるが、芝生がきれいになったのは自分たちの力もあることを感じ、校庭に対する愛着の気持ちが生じてきた。

○芝生の手入れを、学年ごとの活動だけでなく、縦割りペア学年で実施したことで、高学年が低学年に教えてあげたり、一緒に協力したりする様子が見られた。今までコロナ禍で学年ごとの交流をしていなかったこともあり、お互いの交流の場としてとても良い体験となった。

○学年ごとの芝生の手入れにあたって保護者の参加を呼びかけ、保護者と連携しての芝生の手入れを行った。保護者の参加は多くはなかったが、参加した保護者からは、校庭の維持にたくさんの手入れが必要であることが分かったという声が聞かれた。5年生の冬芝の種まきに際しては、地域の方も何人か一緒に参加していただき、連携をすることができた。



4 今後について

○児童による芝生の手入れを、日常の活動に位置付け、年間通しての活動として行っていく。その際に、保護者・地域の方にも一緒に参加していただくようにすることで、芝生に対する理解、学校教育に対する関心を高める。

○「芝生まつり」を継続実施していく。なるべく簡単にできるように実施を工夫する。